R-MAPP

Remote Malnutrition Application for Primary Practice

R-MAPP（アールマップ）は、簡便に栄養不良や筋肉量・機能低下を評価するスクリーニングツールです

R-MAPP*は COVID-19 のパンデミック危機に際し、欧州の臨床栄養学のエキスパートが、直接医師の診察を受けることはできない COVID-19 感染症の外来患者、回復期の患者など、栄養ケアを必要とするすべての患者の栄養状態をリモートでスクリーニングをするための医療従事者用ツールとして開発されました。[1]

＊Remote Malnutrition Application for Primary Practice

R-MAPPの使い方：6つの簡単なステップ

1. **患者の情報**を入力
2. **患者の栄養不良の危険因子**を選択
3. 栄養スクリーニングツール**MUST**を使用して、患者の栄養不良をスクリーニング
4. サルコペニアスクリーニングツール**SARC-F**を使用して、患者のサルコペニアをスクリーニング
5. スクリーニング結果を確認し、**R-MAPP ガイドライン**と比較
6. **患者のスクリーニング結果を含む PDF** を生成します。R-MAPP には患者のデータを保存できません。

ホーム画面にアイコンを追加

R-MAPP アイコンをホーム画面に追加することで、素早くアクセスできます。
i Phone ではブラウザのメニューから「ホーム画面に追加」、
Android では「アプリをインストール」を選択します。
（日本語以外の言語にも対応）

https://toolrmapp.netlify.app

栄養スクリーニングが重要な理由

英国のエキスパートによると、栄養不良に取り組むことで臨床転帰を改善し、医療にかかるコストを削減できることが明らかにされています。すべての患者は、新たな治療の初診で栄養スクリーニングを受け、定期的にスクリーニングを繰り返すことが推奨されています。[2]

UK-ENSC-2100001 2021 年 1 月

「栄養不良ユニバーサルスクリーニングツール」（MUST）は、BAPEN（英国静脈経腸栄養協会）のご厚意により R-MAPP に搭載されました。MUST に関する詳細については、**www.bapen.org.uk** を参照してください。

〈引用文献〉
1. Krznaric Z et al. Clin Nutr 2020;39:1983-1987.
2. A Guide to Managing Adult Malnutrition in the Community, 2017: www.malnutritionpathway.co.uk/library/managing_malnutrition.pdf. Accessed December 2020.

Abbott

R-MAPP

Remote Malnutrition Application for Primary Practice

R-MAPP アイコンをホーム画面に追加すると、より素早くアクセスできます。

iPhone（Safari の場合）

A1 二次元コードまたはリンク https://toolrmapp.netlify.app をタップして、R-MAPPを開きます。
言語は「**日本**」を選択し、共有ボタン[⬆]をタップします。

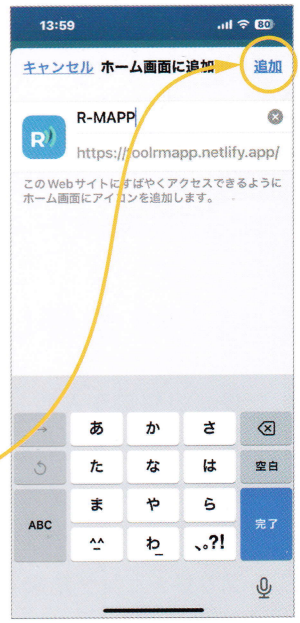
A2「**ホーム画面に追加**」をタップします。

A3「**追加**」をタップすると、R-MAPP アイコンがホーム画面に追加されます。

A1

A2

A3



Android（Chrome の場合）

B1 二次元コードまたはリンク https://toolrmapp.netlify.app をタップして、R-MAPPを開きます。
言語は「**日本**」を選択し、検索バーの右隅にある「 ⋮ 」をタップします。

B2「**アプリをインストール**」をタップします。

B3「**インストール**」をタップすると、R-MAPP アイコンがホーム画面に追加されます。

※右の画面は**Android**です。**iPhone**では、上記のSafariの画面をご参照ください。

B1

B2

B3

■ お問い合わせ・資料請求先
アボットジャパン合同会社 お客様相談室 フリーダイヤル **0120-964-930**
受付時間：月曜～金曜（土日・祝日および当社休業日を除く）の9：00～17：30
〒108-6305 東京都港区三田三丁目5番27号

2024年3月作成
JP202446513AND1

Abbott